

平成26年度第2回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日時

平成26年7月10日(木) 午前8時58分から午前11時35分

2 場所

青梅市役所議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

[出席委員]

榎本晶夫委員長	押切重洋委員	嶋崎雄幸委員
菊池一夫委員	中川般夫委員	奥住尚弘委員
井上忠男委員	増田 擴委員	中村 充委員

[出席青梅市職員]

竹内青梅市長以下14名

4 議事概要

(1) 市長あいさつ

(2) 委員長あいさつ

(3) 報告事項

ア 青梅市行財政改革推進プランに対する取組状況について 【藤野行政管理課長】
第3回委員会において取り上げる項目の参考とするため、7月25日(金)までに、
記入表を提出して、事務局へ御提出いただきたい。

イ モーターボート競走事業について 【平野事業部長】

ウ その他

2月の雪害について

(4) その他

次回は10月予定。日程は後日調整することとする。

5 主な質疑・意見等

○青梅市行財政改革推進プランに対する取組状況について

《意見・要望》

- ・目標値は計画策定段階で検討し決定したのだから、安易に変更せず管理してはどうか。
- ・保育料、育成料、給食費等収納率の向上に対する取組について、実績を掲載してもらいたい。
- ・保育料の滞納に対しては給与の差押えを行うことが自然である。
- ・民間企業ではサークル活動で自己啓発、相互啓発を図り、職員のモチベーションを高めている。市でも職員の教育に利用してもらいたい。
- ・提案制度を活性化するために、民間企業の提案活動を勉強してみてもどうか。
- ・指定管理者制度について、コスト削減はある程度進んでいると思われるが、サービスの面で低下している事実は否めない。市として、実際に指定管理者制度がどのように機能しているか、把握する努力が必要である。

○モーターボート競走事業について

《質疑》

- [Q] 入場者数増加のため、ナイターの開催などは意味のあることかもしれないが、施設整備が伴わないと難しい。施設所有者や委託業者など関係者で検討しているのか。
- [A] ナイター開催をしている競艇場は非常に売れています。多摩川競艇場でもナイターを行いたいと施設所有者と交渉を行っていますが、できていない状況です。なお、売上向上策として、通年で舟券が買える外向発売所の設置を検討しています。

《意見・要望》

- ・競艇場の賃借料が売上の4.5%というのは既得権益である。当初契約の時点と比べ売上が大幅に減少して、競艇場施設のかなりの部分を使用しなくなったのだから、それに応じて賃借料を引き下げるのが通常の不動産取引である。施設所有者の多摩川開発が利益を上げているとすれば、賃借料は減額すべきだ。
- ・賃借料引き下げの交渉に当たっては、過去と現在の利益配分状況をよく調べて、青梅市が割を食わないようしっかりと交渉してほしい。そのためには、議会を含めて市民の意見を強く出していくことが重要だ。
- ・市が競艇事業を実施するのは、市財政への一定規模の繰出金の確保が目的で、競艇事業自体やその従事者の雇用の確保が目的ではない。このことをまず認識しなければならない。
- ・本場の売上の減少に危機感を覚える。市独自ではできないが、モーターボートレース自体の魅力を高めていくことが必要である。
- ・イベントだけではなく、通常の集客のために、施設を有効に使えるよう検討してもらいたい。
- ・売上向上のために、PRが必要である。競艇紹介冊子（ボートレースバイブル）を市施設等に置いてはどうか。